



株式会社山本電機製作所

株式会社 山本電機製作所
YAMAMOTO ELECTRIC WORKS CO., LTD. JAPAN

Manostar

事業者概要 (2025年3月現在)

代表者 代表取締役 山本 博和

所在地 神戸市長田区西尻池町一丁目2番3号

電話番号 (078) 631-6000

従業員数 138名

主な事業内容

計測機器、システム制御装置、電気・機械機器の
設計・製作・販売

URL <https://www.manostar.co.jp/>

取組の背景

- 主要取引先が環境問題に対し先進的に取り組まれていることもあり、サプライヤとしてSDGsや脱炭素経営に力を入れるようになった。
- 水素関連産業にビジネスチャンスを見出し、産学連携で液化水素レベルセンサの開発を始めた。

#SDGs #ISO認証取得 #SBT認証取得 #水素 #産学連携

取組の内容

SDGsへの取り組み

- 2004年6月に「ISO14001」、2006年10月に「ISO9001」をそれぞれ認証取得。
- 2024年3月、ひょうご産業SDGs認証企業「ゴールドステージ」認証
- 環境配慮の取り組みとして、グリーン調達（環境への影響が少ない商品の優先購入）を積極的に行う方針を掲げ、「グリーン調達ガイドライン」を策定。
サプライチェーン全体で環境負荷低減に取り組んでいる。



取引先企業からの信頼獲得に加え、人材の雇用についても効果を発揮。

中小企業版SBT認証取得

- 脱炭素化をさらに深めるため、神戸市産業振興財団の支援のもと省エネ診断や省エネ設備更新を2023年度に実施。
- 省エネ診断時に取得したデータや、中小機構の伴走支援を活用し、中小企業版SBTの認定を取得。
- また、各事業分野ごとにCFP（カーボンフットプリント）を算定し、Scope3を含めたサプライチェーン全体の情報開示に向けた準備を進めている。



2030年までにGHG排出量を2022年度比で42%削減を目指す。

液化水素レベルセンサの開発

- 水素関連産業の将来性と市場に液化水素専用のレベルセンサが存在しない点に着目。
神戸大学と連携し、超電導式レベルセンサ「LHYLSE」を開発。
- 液化水素温度で電気抵抗がゼロとなる超電導線材を使用し、正確な液位の測定が可能。
- 精度、応答性、メンテナンス性に優れる他、ユーザの要求仕様に応えた専用設計が可能。



世界最大級の水素展示会「Hydrogen Technology Expo Europe」に2023年から2年連続出展。水素関連企業にとどまらず、航空関連企業等からも大きな反響を得た。



環境に配慮して誕生したManostar製品

